

令和4年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（共通教育科目）

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
國學院の学び（聴覚障害者の文化と手話学）	森本 行雄	2	手話通訳士としての実務経験のある教員の指導により、聴覚障害者と手話に関する知識を具体的に学び、言語としての手話の位置づけを理解することが出来る科目である。
データ・リテラシー	岡田 長治	2	IT企業での実務経験を持つ担当教員が、ICT社会における情報社会、およびデータ駆動型社会についての基本知識を講義する
法と社会参加(高齢者・障害者の生活と法)	佐藤 彰一	2	担当教員は本学教授・弁護士であり、高齢者や障害者をめぐる成年後見、虐待、社会的排除などとこれらに関する法について、具体的事例を交えて学習していく。授業である。
スポーツ科学論	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験をもつ教員が、実務経験を活かしたアスリートセントリックな視点で、スポーツ科学の重要性や価値について講じている。
國學院の学び（『万葉集』を読む1）	上野 誠	2	博物館設立に関わる諸委員、遺跡復元計画に関わる諸委員、公的研究所運営の実務（万葉古代学研究所副所長）などの経験から、研究に関わる実務について語る事ができます。また、萬葉学会編集長、上代文学会理事等の就任経験から、学会運営の実務についても説明することができます。
日本文化を知る（和歌をまなぶ）	田中 章義	2	大学1年生の時に第36回角川短歌賞を受賞して以来、国内外のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等、様々な場で短歌を発表してきました。著作物は30冊以上。現在は、短歌など、いくつかの文学賞の選考委員もしています。
英語Ⅲ（英語文学を読む）	神戸 万知	2	文芸翻訳家として20年以上にわたり100冊以上の英語圏の本(主に児童文学)を翻訳
法と社会参加（企業での活動と法）	花田 弘介	2	担当教員は、民間企業にて法務部員を経験した後に弁護士となった。このような経験を踏まえて、経済生活・経済活動にかかわる法制度や法規の基本的な事項について、企業活動の主体（主に株式会社）とその内容の観点から基礎的な知識の習得を目指す授業である。
基礎日本語（文芸的文章を書く）	川口 晴美	2	詩人として、詩やエッセイを書いて発表するだけでなく、新聞や雑誌などに書評を連載している。長年にわたってさまざまな文章作品を読み、評価してきた経験を踏まえ、指導を行う。
法と社会参加（ワークルール入門）	本久 洋一	2	北海道労働委員会公益委員、神奈川県労働委員会公益委員(現職)
日本文化を知る（日本中世の人間と宗教）	横田 光雄	2	自治体史編さんの実務経験を有する教員が、日本文化に関わる実務経験を活かして、日本中世の宗教史に関する教育を行います。
共通教育科目の合計単位数			22 単位